

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立義務教育学校八束学園 後期課程）

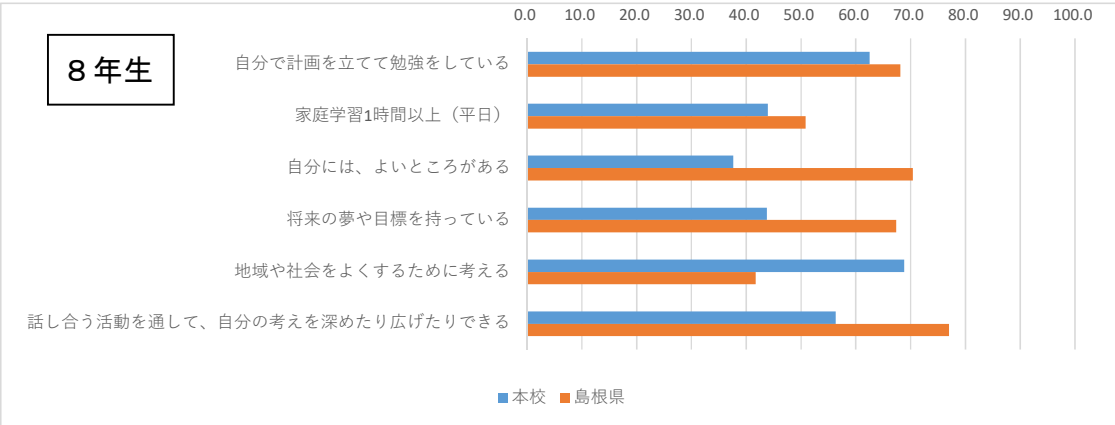
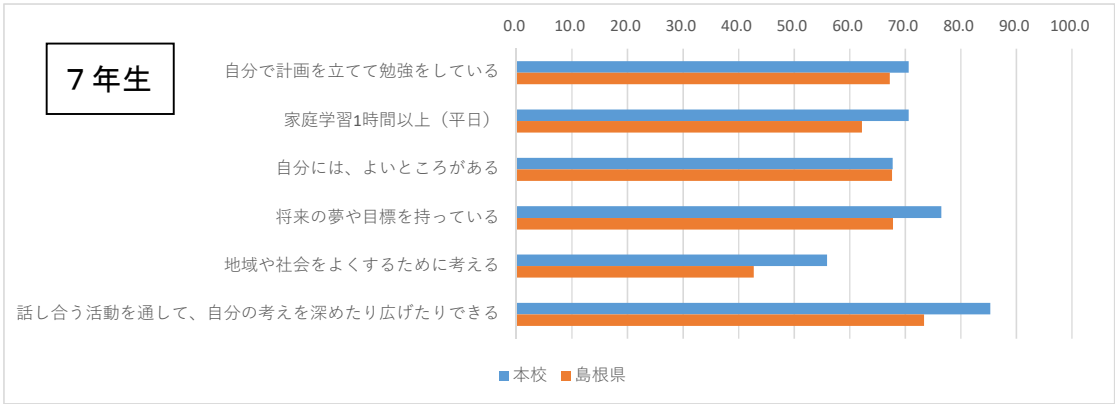
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

7 年 国 語	○読むこと、言語文化に関する事項、言葉の特徴や使い方に 関する事項についての平均正答率が、市・県・全国の数値を上回 っている。 ●書くこと、主体的に学習に取り組む態度については目標値を下 回っているため、今後の指導で力を付けていきたい。	8 年 国 語	○観点別正答率が、全ての項目で目標値を上回っている。 特に、話すこと聞くことについての数値が高い。また、標準 スコアが前年度と比較し伸びている。 ●書くことについては、個人で差が大きいため、個別の支 援を充実させたい。
7 年 数 学	○観点別の正答率としては、すべての項目で、市・県・全国 平均を上回っていた。特に基本的な計算や知識・技能の問 題に関して、高い数値を残している。 ●文章を読んで立式したり、事象や式について説明したり することに関して正答率が低くなっている。	8 年 数 学	○一次関数の式を求めたり、グラフを読み取ったりするこ とが目標値を上回っていた。また、活用問題の正答率が市・ 県平均を上回っていた。 ●基本的な計算はできているが、複雑な計算になると、正 答率が低くなっている。
7 年 英 語	○英文を聞いて答える問題や基礎・基本問題は正答率が 高い。 ●場面やテーマに沿って英文を書く問題の正答率は低い。 書くことに抵抗を感じる生徒も多く、基礎・基本知識を活用 した書く活動の工夫が求められる。	8 年 英 語	○英文を聞いて答える問題や語彙、語法を問う問題は県平 均、または上回る正答率である。 ●長文を読み取る問題や書く問題は正答率が低い。学ん だ語彙・語法を生かし、場面に応じて書いて表現する活動 を取り入れていく。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

7 年	○「地域や社会をよくするために考える」、「将来の夢や目 標を持っている」、「家庭学習1時間以上」と回答した生徒が 県平均と比べ10%程度上回っている。 ●「自分には良いところがある」と回答した生徒は県平均と 同等であるが、学力が上位層の生徒は高く、下位層の生徒 は低いので学習の支援を強化していく必要がある。	8 年	○「地域や社会をよくするために考える」の項目は、よくした いと考えている生徒が県平均と比較して25%程度上回っ ている。 ●「自分には良いところがある」と回答した生徒が県平均と 比較して30%程度下回っており、自己肯定感が低く、自分 に自信がない生徒が多い。互いに認め合ったり褒めたりす るなど場を設け、自己肯定感を高めていきたい。
--------	---	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 7年生 34名 8年生 16名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、
最少の受検者数をもって表示。